小野谷機工

中小企業庁長官賞を受賞

小野谷機工㈱は11月19日に滋賀県大津市の琵琶湖ホテルで開催された、発明協会主催の令和2年度・近畿地方発明表彰式で、同社の発明である「車両のジャッキアップ時の安全確保装置」商品名：枕木台車（セーフティーウッドキャリー）SWC－25が、「中小企業庁長官賞」を受賞した。近畿地方発明表彰の受賞は2年ぶり8回目となる。

「SWC－25」は、大型車両ジャッキアップ時の安全作業確保の必需品といわれ、車両はジャッキで押し上げられ、作業者は車両の底で点検や修理を行うが、その際安全確保装置として「SWC－25」のブロックが車両の底に配置されているため、万が一ジャッキがはずれた場合でも、ブロックで支えられ、作業者が潰されることはない。

中央にあるのがSWC－25

高さに応じて選べる2段積み枕木を採用しているためジャッキで押し上げられた空間に適した高さのブロックを選択して配置ができ、ロングハンドル仕様で奥深い箇所へのセッティングも容易に。

今回長官賞に輝いた特許は、3年ほど前に取得し、商品化して販売を開始した。毎月一定のペースでトラックサービス店から注文が入るという。

授賞式には三村昌之会長が出席して盾を受賞した。近畿地方発明表彰には、①文部大臣賞、②特許庁長官賞、③中小企業庁長官賞他様々な表彰があり、今回は上位3番目に入る大きな表彰。

発明協会から「中小企業長官賞」
小野谷機工の枕木台車が表彰

公益社団法人発明協会はこのほど「令和2年度地方発明表彰」を発表。その一つ、近畿地方発明表彰「中小企業長官賞」を、小野谷機工㈱（福井県越前市）の「車両のジャッキアップ時の安全確保装置」（特許第6591467号）が受賞した。11月19日、滋賀県大津市内で表彰式が行われ、三村義雄社主に記念の盾が贈呈された。

記念の盾㊤と「SWC－25」の使用イメージ

発明協会では、科学技術の向上と産業の発展を目的に独創性に富む優れた発明品や発明の実施・奨励に貢献した人々を表彰している。そのうち「地方発明表彰」は全国を8ブロックに分け、各地域での優れた発明や関係者に表彰を授与するもの。

今回「中小企業長官賞」を受賞したのは、同社の枕木台車「セーフティーウッドキャリーSWC－25」。車両をジャッキアップし、その車両に作業者が潜り込んで作業をする際の安全を確保する装置。軽量設計で、移動に便利なキャリー式台車を採用。ロングハンドル仕様とすることで奥深い箇所へのセッティングも容易にした。